

令和4年度 第3回白井市市民参加推進会議

日 時：令和4年11月25日（金）午後1時から4時
場 所：白井市役所東庁舎1階 会議室101

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) 総合的評価における担当課ヒアリング [資料1]

事業番号③ 第2次行政経営改革実施計画策定事業（財政課）

事業番号② 第3次しろい健康プラン策定事業（健康課）

事業番号① 白井市第3次環境基本計画（環境課）

(2) 令和3年度市民参加の実施状況に対する総合的評価 [資料2・3]

事業番号④ 白井市公共施設等総合管理計画（改訂）（案）

事業番号⑤ 白井市産業振興ビジョン策定

事業番号⑥ 白井市第2次地域福祉計画（しろい支え愛プラン）中間見直し版の策定

4 その他

(1) 第4回会議のスケジュール（案）について [資料4]

(2) 総合的評価における担当課ヒアリングについて [資料5]

5 閉 会

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

資料1

事業番号① 白井市第3次環境基本計画 (環境課)

質問事項	回答
【審議会に関する質問】	
①令和4年4月に計画策定が完了しているが、委員の任期が令和5年2月までとなっている理由は。	現在の環境審議会委員の任期が、令和3年2月14日から令和5年2月13日までになっていることから、計画策定は完了しましたが、任期は継続となっております。
②委員の任期を2期に分けている理由は。また、メリットはあるか。	令和元年11月に白井市第3次環境基本計画について諮問しましたが、令和3年2月に委員改選になったため、審議会についての回答を分けております。 計画策定期間中の委員改選になったことにより、新旧委員より多くの意見を取り入れられたことがメリットとして捉えています。
【パブリックコメントに関する質問】	
③募集の際に広報しろい(令和3年12月15日号)に記載されていた「閲覧場所」とはどこを指しているのか。 また、どのような資料を閲覧できるのか。	閲覧場所は、市ホームページ、各センター、市情報公開コーナー、図書館、担当課窓口でした。 また、資料は、白井市第3次環境基本計画の素案を設置していました。
④会議録について「会議内容がわかりやすいよう整理して掲載している」とあるが、具体的にはどのような工夫をされたか。	【環境審議会に関する質問】 環境審議会の会議録については、会長の挨拶、担当者の説明、質疑応答等、発言の内容を詳しく記載し、確認しやすくなるように整理して掲載しています。
【アンケートに関する質問】	
⑤対象者を小学校4年生と中学校2年生とした理由は。	子ども向けアンケートについて、前回は平成27年度に計画の中間見直し時に実施し、中学3年生を対象としておりました。 しかし、今回は実施時期が2月から3月であり、前回と同じ中学3年生を対象に実施することが難しいため、中学2年生としました。 また、今回は併せて小学生向けにも実施するため、現在、環境学習で小学4年生を対象にしていることから、小学4年生を対象にしました。

<p>⑥市民と事業者で、郵送での回収率が20%違った要因についてどのように考えているか。</p>	<p>市民については、回収率が53.8%であり、多くの方から御意見をいただくことができました。 (参考：前回実施時51.2% ※市民)</p> <p>事業者については、回収率が33.6%であり、市民と比較すると低い回収率ですが、事業所宛にアンケートを送付しており、設問が13あることから、業務の都合により回答ができなかった事業者があったと考えております。</p> <p>しかし、前回と比較すると、回収件数が82件増えていることから、市全体的に環境への関心度が高まっていると捉えております。 (参考：前回実施時170件→今回252件 ※事業者)</p>
<p>【ワークショップに関する質問】</p>	
<p>⑦開催周知にFacebookを活用したことで新たな市民層を獲得できたか。</p>	<p>Facebookを見て応募したかどうかは把握できていませんが、市環境課Facebookや講師のFacebookからの情報発信により、より周知できたと捉えております。</p>
<p>⑧各センターで6回開催し、参加人数が60名であったが、予定していた参加人数に対してどのように評価しているか。</p>	<p>各施設20名を定員としていたため、予定よりも少ない参加者となった会場がありました。 (最低6名・最大18名参加)</p> <p>しかし、コロナ禍ではあったものの、無事に開催することができ、どのセンターでもグループワークを実施し、多くの意見を収集することで、計画策定に市民意見を取り入れることができたとは評価しています。</p>
<p>⑨参加者の資格が「小学校5年生以上の白井市在住もしくは在勤の人」と幅広い年齢層となっているが、どのように周知し参加者を集めたのか。</p>	<p>周知方法は、広報しろい、ホームページ、各センター、図書館、担当課窓口、環境課Facebookにより周知を行いました。</p> <p>また、参加応募があった方に対して、周りで参加できる方がいる場合は、参加を呼びかけてもらえるようお願いし、参加者を増やしました。</p> <p>当日は、小学生や大学生から80代の方まで、幅広い年齢層の方に御参加をいただき、延べ60名の参加があり、活発な意見交換が行われました。</p>

【その他の質問】	
<p>⑩アンケートやワークショップ、団体ヒアリング等の結果についてどの程度審議会での議論に反映できたか。 また、審議会や計画内容に反映する上での難しさや工夫はあったか。</p>	<p>いただいた御意見については、5つの環境分野（自然環境・地球環境・生活環境・資源循環・環境保全）に分けて整理し、それぞれの分野に反映させています。</p> <p>例えば、アンケート結果の自然環境の分野では、緑や生きものに関する満足度が高い結果を踏まえ、豊かな自然環境と生物多様性を保全し、ふれあいの機会をつくることで、高い満足度を維持する必要があると捉えました。</p> <p>他にも、ワークショップの結果からは、「エネルギー」「防災」といった御意見は、地球環境の分野に、「自然」「農業」「みどり」といった御意見は、自然環境の分野になど、関連する分野における施策立案の参考としました。</p> <p>なお、いただいた御意見を計画策定に反映させるため、分野別に整理することで、施策との結びつきがわかりやすくなるように工夫しました。</p>
<p>⑪全般的に見て事前周知または公表について不足が見受けられるが、担当課としてはどのように考えているのか。</p>	<p>広報やホームページ、各センター等、意見公募を実施する際には事前周知を行い、広く意見を収集できるように努めましたが、パブリックコメントが2人の応募であったことや、コロナ禍でありましたが、地区意見交換会で参加人数が少ないセンターがあったことがありましたので、事前周知の期間を長くとることや、市内の団体等と連携を図り、周知することが次回の課題として捉えています。</p>
<p>⑫環境団体等意見交換会について、1年の期間を空けて実施した理由は。</p>	<p>当初は平成31年度のみの実施を予定していたため、令和2年3月に2回実施しました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画策定期間を1年間延長したため、より多くの意見を収集することを目的に、追加で令和2年度（令和3年2月・3月）に2回実施しました。</p>

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号② 第3次しろい健康プラン策定事業 (健康課)

質問事項	回答
【審議会に関する質問】	
①委員の人数が第1期と第2期で1名異なる理由は、	<p>第1期の健康づくり推進協議会（以下、審議会）委員数は11名で、その外に専門委員1名をあわせ、委員数は合計12名でした。専門委員をおいた理由は、平成30年度に自殺対策計画を策定する予定であったことから、メンタルヘルスの専門的知見を有する精神保健福祉の専門家を専門委員として助言を得たいと考えたためです。</p> <p>第2期においては、自殺対策計画の策定が終了したことから専門委員の委嘱は行わず1名減とし、その他に1名の委員構成を変更（関係団体代表者1名減⇒市民1名増）し、委員数は11名としました。</p>
②令和2年3月25日と令和2年12月18日の審議会については書面で行われているが、参加者の意見はどのように収集したのか。	<p>両日の審議会ともに、①議題の検討に必要な会議資料、②会議資料の概要を記載した資料、③委員の意見を記載する「意見書」を各委員に郵送し、2週間以上の期間を設け、全委員に「意見書」を返信していただくよう依頼し、意見を収集しました。</p>
③第1期・第2期の公募委員の募集人数は何名か。また、第1期・第2期ともに公募委員が少なかったのはなぜか。（第2期の募集時には対策を講じられたのか）	<p>公募委員の募集人数は、第1期は1名、第2期は2名です。</p> <p>しろい健康プランは健康増進計画、食育推進計画、歯科口腔保健推進計画、自殺対策計画の4計画で構成しており、計画策定において様々な立場の方から意見を伺えるよう、①学識経験を有する者、②医師、③関係団体の代表者、④教育機関の職員、⑤印旛保健所の職員、⑥市民を委員構成とし、会議で委員の発言機会を確保できるよう、12名以内で構成することとしています。</p> <p>こうした考えをもとに、委員構成と委員数を総合的に勘案し、公募委員の数を決めました。</p> <p>第2期では、市にて無作為抽出による公募委員候補者登録制度の運用開始により、公募委員を2名とし、市民参加の拡充を図りました。</p>
④委員の任期が2期に分かれており、公募委員が入れ替わっている理由や背景は何か。	<p>委員の任期を2年と定めており、計画策定期間中に第1期の審議会の委員の任期満了を迎えたため、第2期の審議会を設置し、新たな委員に委嘱しました。</p>

【パブリックコメントに関する質問】	
⑤結果については令和3年4月23日の審議会にて報告されたとあるが、どのように報告されたのか。(ホームページ上で結果を確認することができなかったため)	<p>パブリックコメントの実施結果として①市民の意見数、②市民の意見、③意見に対する市の考え方、④意見の取り扱いについて、書面にて各委員へ郵送し報告しました。</p> <p>(市のホームページ掲載が漏れており、令和4年10月24日に掲載しました。)</p>
【アンケートに関する質問】	
⑥対象者について、小学校5年生と高校1年生とした理由は。	<p>健康プランは、全ての市民を対象とし、市民が心身ともに健康で充実した生活を送れることを目指しており、対象世代は全世代としています。こうしたことから、大人だけでなく、子どももアンケート調査の対象としています。</p> <p>アンケート調査の実施にあたり、第2次しろい健康プランの評価のため、前回の平成26年度実施と同じ学年(小学校5年生・中学校1年生)を対象とすることも視野に入れ検討しましたが、義務教育後の若年層の健康づくりの取り組みの実態を把握したく、特に自殺対策計画に関連する心の健康についての現状を把握するデータが少なかったため、高校1年生相当を新たに対象としました。</p>
⑦市民向けのアンケートの発送件数を2,000件とした理由は。	<p>統計分析の正確性と調査に要する費用の両方を勘案し、調査対象者を無作為に抽出することで市民の代表性を高め、市民2,000人を対象とすることが妥当であると判断しました。</p>
⑧結果公表の時期が遅くなった理由は。	<p>アンケート調査は令和元年11月21日から12月12日で行いました。その後、集計・分析、調査結果報告書を作成し、審議会への調査結果の報告(令和2年3月25日[書面会議])を経て公表を予定していました。</p> <p>また、3月の審議会にて、調査報告書のレイアウトの一部変更の意見が出され、これに対応した上で、市民へ結果公表を行ったため、公表時期が遅れました。</p>

【意見交換会に関する質問】	
⑨参加者の人選はどのように行ったか。また、参加者は全て同じ高校からの参加だったか。	<p>参加者は市内在住・在学の高校 1 年生相当年齢 (H15. 4. 2～H16. 4. 1 生まれの人) とし、申込制で先着 20 名としました。</p> <p>周知は市のホームページ、広報しろい (7/15 号) に掲載、メール配信を行ったほか、白井高校と印旛明誠高校に周知協力を依頼しました。</p> <p>白井高校で参加希望者を取りまとめ、10 人の参加となりましたが、それ以外の申込はありませんでした。</p>
⑩複数日での実施は検討されなかったのか。	<p>市長と高校生が参加する意見交換会は、第 3 次プランで初企画の取り組みであり、まずは 1 回実施してみようということで、複数日での実施は検討しませんでした。</p>
⑪健康座談会を市長とのランチミーティングとした理由は。	<p>市長が「もっと元気で健康なまちにします」を施策の柱の一つとしてまちづくりを推進していることを受けて、市の未来を担う高校生に市政を身近に感じてもらいたいため、市長とのミーティングとしました。</p> <p>また、市が備蓄しているアルファ米を使用し、白井産の焼き野菜を使ったカレーライスと梨のサワーコンポートを提供する事で、白井市に愛着を持ってもらえること、ランチミーティングであれば、友達と誘い合って参加しやすく、緊張しないで和気あいあいとした話し合いができるのではないかと考えました。</p>
⑫意見交換会の参加者は何名だったか。また、どのような対話がなされたのか。	<p>意見交換会の参加者は 10 人でした。</p> <p>最初に市長と一緒に、なし坊ヘルシーカレー等を試食し、カレーのアイデアを出していただきました。</p> <p>その後、市長が進行役となり、高校生の健康づくりの現状や課題、アイデアについて、食事、歯みがき、運動、心の健康をテーマに意見を出していただいた上で、若い世代の健康づくりを推進するためのアイデアを出していただきました。</p> <p>最後に高校生対象のアンケート調査のプレ実施をしました。</p>
⑬結果について単独で公表せず、計画書への資料掲載による公表とした理由は。	<p>計画策定プロセスにおいて意見交換会を実施したことを記録として残すために計画書へ資料掲載しました。</p> <p>また、成田・印西・白井の地域情報サイト「まいふれ」からの取材を受け、意見交換会の模様を文書・写真等で掲載していただきました。</p> <p>しかしながら、市としてまずはホームページ等にて意見交換会の模様を広く市民に公表する必要があったと受け止めており、今後は漏れなく公表していきます。</p>

【その他の質問】	
<p>⑭アンケートや意見交換会の結果についてどの程度審議会での議論に反映できたか。 また、審議会や計画内容に反映する上での難しさや工夫はあったか。</p>	<p>新型コロナの感染を防止するため、審議会は書面会議による開催としました。</p> <p>そのため、アンケート結果は書面による資料を通じての報告とし、委員からの意見は書面提出とせざるを得ませんでした。また、意見交換会の意見は事務局での健康課題の整理や計画素案作成において活用いたしました。</p> <p>書面会議は対面式の会議と比べ、委員の意見が出しづらく、委員同士が直接議論することができないため、書面会議での意見の反映に難しさを感じました。</p> <p>会議形式を工夫しオンラインで実施できれば良かったのですが、当時の状況として、庁内のオンライン環境が十分でなく、職員・委員がまだ不慣れであったこと、委員の医師や保健所職員が多忙を極めており、実施には至りませんでした。</p>
<p>⑮健康プランの対象世代は全世代なのか。または特定の世代なのか。</p>	<p>健康プランは、全ての市民を対象とし、市民が心身ともに健康で充実した生活を送れることを目指しており、対象世代は全世代としています。</p>

市民参加推進会議
ヒアリング対象事業 質問及び回答

事業番号③ 第2次行政経営改革実施計画策定事業 (財政課)

質問事項	回答
【審議会に関する質問】	
①無作為抽出の委員の年代が他の審議会と比べて低かったが、無作為抽出の市民への声かけはどのように行ったのか。	委員の住む地域や年齢構成ができるだけ均衡になるよう声かけを行いました。 なお、市で定めている「白井市審議会等の設置及び委員の選任に関する要綱」では、選考基準の1つとして地域・年齢構成の均衡に配慮することとされています。
②開催時間を平日の夜に設定した背景は。	各委員に開催時間の希望を確認し、平日夜間であれば全員が出席可能であったためです。
③公募委員の選考基準について「今までにおける市政への参画経験の少ない者」としている理由は。	より広く意見を求めたいと考えたためです。 なお、市で定めている「白井市審議会等の設置及び委員の選任に関する要綱」でも、選考基準の1つとして市政への参画経験の少ない者を優先することとしています。
④会議録の発言者氏名について、公表用・原本ともに記載した理由は。	発言に対する責任も踏まえ、委員の了承を得て実施しました。 なお、会議録公開の際は、個人情報に係る内容を事務局側で削除し、委員全員に内容の確認及び修正を依頼しています。
⑤傍聴者が多かった理由は。周知等に工夫があったのか。	参加しやすい開催時間と興味を引く内容だったのかと思います。 また、日程について早期に決定したのもプラスに働いたと思います。 なお、主な傍聴者は市議会議員でした。
【パブリックコメントに関する質問】	
⑥資料を提供した際には各センターで周知していたが、結果公表の際に各センターで行わなかった理由は。	ホームページで結果を確認できる背景を踏まえて、原本による結果公表は情報公開コーナー及び図書館のみで行いました。
⑦結果について、令和4年3月29日に審議会へ報告したとあるが、委員へどのように報告したのか。	事前に審議会の了承を得た上で、結果については計画内容を大幅に修正する内容でなければ、審議会を開かずメールで報告を行うこととしました。

	<p>また、翌年度にも審議会が開催されることが決まっていたため、その際に改めて報告を行いました。</p>
<p>⑧寄せさせた意見について「素案に反映できない」と判断された理由は。</p>	<p>寄せられた3件の意見のうち、2件については、計画に位置付けている取組内容と重なるため、改めて素案には反映しませんでした。</p> <p>その他1件については、計画の取組案とは関連しないものであったため、ご意見として参考とするものとししました。</p>
<p>⑨パブリックコメントの実施内容とそのまとめはどこで確認できるのか。</p>	<p>市ホームページ、情報公開コーナー、図書館でパブリックコメントの実施結果を公開しています。</p>
<p>【その他の質問】</p>	
<p>⑩自己評価において「個別計画の多くが市民参加を行っていない中で、審議会の設置及びパブリックコメントの募集の2つの市民参加を行っていることから十分な市民参加を行うことができた」と書かれているが、市民参加の方法が2つで十分と判断された理由は。</p>	<p>市民参加条例第7条において、市民参加の方法は適切な方法を選択して実施するものとしています。</p> <p>また、条例第6条第1項では、市民参加の対象を基本方針や基本的な事項としていますので、市の分野事業レベルの計画である個別計画の多くは条例の対象外と認識していますが、本計画は市の施策として重要であり、広く市民の意見を反映させる必要があると考え、市民参加を行ったものです。</p> <p>本計画はその性質上、行政内部の事務の具体的な取り扱いが主となることから、市民参加の方法として、まずは会議を重ねて議論が行える審議会で作成し、その後、個人で計画素案を読み込んでから意見をもらうパブリックコメントが適切だと考え、審議会の設置及びパブリックコメントを実施したものです。</p>
<p>⑪自己評価に記載されている「今後の課題である傍聴者の取り扱い」とはどのような意味か。</p>	<p>全ての委員がオンラインで会議に参加した場合、傍聴者の対応をどのようにするかについては、今後の課題であると考えています。</p> <p>方法としては、傍聴者のために別途会議室を用意するか、またはオンラインで傍聴するのかなどが挙げられます。</p> <p>前者の場合、参加があるかわからない傍聴者に対して会場やPC、モニター等をあらかじめ用意せねばならず、事務上の負担が大きくなることが考えられ、後者の場合には、無断録画、録音などの情報流出が懸念されることなどの課題があります。</p>

令和3年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号④ 白井市公共施設総合管理計画（改訂）（案）

委員氏名									
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）	× 不良	9点	△ 要改善	15点	△ 要改善	13点	△ 要改善	10点	
総合コメント	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加が必要なテーマであるにも関わらず、パブリックコメントだけしか実施しておらず、コメントも0件だった。このため、市民参加をやったということにはならないと考えられる。 		<ul style="list-style-type: none"> 市民参加の方法としてパブリックコメントだけが採用されたのはコスト面が理由でしょうか。 パブリックコメント募集時に広報しういでQRコードを提示しているのは良いと思いました。 ホームページ上ではすでに意見募集時のページは削除されていたため、「計画や条例の素案」、「パブリックコメントの目的・意見の提出方法を記した案内」、「意見書」の内容を確認することができませんでした。これらの資料はどのような内容だったのでしょうか（白井市都市マスタープランとの関係性や本計画の内容が分かりやすく書かれたものだったのでしょうか）。 		<ul style="list-style-type: none"> 市民参加の方法が「パブリックコメントの募集」のみで象徴される様に市民参加に対する姿勢が消極的。 		<ul style="list-style-type: none"> 市民のかかわりの深い公共施設等を対象とした計画の見直し、直接的に、市民に対しての説明、市民の意見聴取が実施されることが望まれる。 		
担当課ヒアリング 質問事項	<ul style="list-style-type: none"> なぜパブリックコメントのみ実施することになったのか、その背景についてお伺いしたいです。 		<ul style="list-style-type: none"> 今回の改訂ではどのような内容が改訂されましたか。「『令和3年度までに公共施設等総合管理計画の見直しに当たっての留意事項について』を受けた一部改訂及び元号、統計数値等の時点修正を行うもの」とはどのような改訂内容なのかご教示ください。 市民参加の方法としてパブリックコメントを選定した理由を教えてください。 パブリックコメント募集時に、白井市都市マスタープランと本計画（白井市公共施設等総合管理計画）の関係性はどのように説明しましたか。また、白井市公共施設カルテはパブリックコメント募集時にはどのように開示されていたのでしょうか。 平成29年2月に実施した白井市公共施設等総合管理計画（案）のパブリックコメントでは13件（4人）の意見が寄せられています。令和3年度と平成28年度のパブリックコメント募集方法で何か変更した点がありましたか（募集期間は平成28年度も14日間です）。 「2-4 ホームページのアクセス件数」の定義を教えてください。白井市公共施設等総合管理計画（改訂）（案）のパブリックコメント募集のページへのアクセスが489件あったのでしょうか。 		<ul style="list-style-type: none"> 市民参加の方法として「パブリックコメントの募集」のみとしたのは何故か。 「パブリックコメント」への応募結果が0だったことについての見解は。 		<ul style="list-style-type: none"> 国からの公共施設管理計画の見直し指示は令和3年1月26日、白井市の見直し取り組みはいつからですか。 		
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	
①市民参加の方法	評点	3	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントのみ行っており市民参加の方法が十分とは言えない。 	5	<ul style="list-style-type: none"> 白井市公共施設等総合管理計画は市民にとって関心の高い総合的な計画と考えられますが、市民参加の方法としてパブリックコメントだけを採用された理由が気になりました。今回は改訂に係る議論だったことが関係しますか。平成29年に本計画を制定する際はどのような市民参加の方法を実施されたのでしょうか。 提供資料について、パブリックコメント募集時に、概要版を公表されていたらより多くの意見が集まったのではないかと思います。また、白井市公共施設カルテは大変分かりやすく施設の状態がまとめられているので、本計画のパブリックコメント募集時にこれを提供資料として提示していたらより多くの意見が集まる可能性があったと思います。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加の方法が「パブリックコメントの募集」のみでは不足ではないか。複数の方法を活用すべきだと思う。 	4	<ul style="list-style-type: none"> 広く市民への説明、市民の意見・要望等聴取する直接的な意見交換会が、市民参加としての取り組みと考える。
	区分	不適切		やや不適切		不適切			
②市民参加の手続き（基準）	評点	4	/	6	/	6	/	4	/
	区分	不良		要改善		要改善		不良	
③市民参加の手続き（水準）	評点	2	/	4	/	3	/	2	/
	区分	やや積極的		やや積極的		やや積極的			
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	
パブリックコメント （意見公募）募集	基準	<ul style="list-style-type: none"> やることは条例基準を満たしているが、機械的に作業をしているだけのように見られた。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 条例基準は概ね満たしていますが、結果として市民の意見が集まらず、本計画策定時に市民の意見が反映される機会が得られなかったため改善の余地はあると思います。 意見の募集期間が前回の平成29年度のパブリックコメント募集と同じ期間であったのに、前回と今回で違いが出てしまったことについて原因があるようでしたら情報共有していただきたいです。 市民の関心が高い分野ではありますが、計画そのものは難しい内容なので概要版の必要性を感じました。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 市民への訴求不足。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 形づくりだけで積極的な取り組みは見られない。 	
	4		6		6		4		
	水準	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントのみの市民参加であれば、多くの人に知ってもらえるように周知の方法をより多くするなど（SNSなどの利用）取り組むべきであったと考えられた。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 広報しういで意見募集をする際にQRコードを掲載し、アクセスしやすい工夫をされているのは良いと思いました。 意見募集時のサイトはすでに削除されているため、具体的にどのような資料が提供されていたのか、市民にとって意見を応募しやすい（計画の位置づけや計画の内容が分かりやすかったのかどうか）工夫がなされていたのかは確認できていません。 市役所に意見を送ることはハードルが高いですが、公共施設は市民にとって関心の高い内容なので市民の声が計画に反映される工夫がなされていると良いと思いました。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 上記に同じ。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい水準からは程遠い。 	
	2	4	3	2					

令和3年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号④ 白井市公共施設総合管理計画（改訂）（案）

委員氏名								平均（小数点以下切り捨て）			
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）		× 不良	5点	△ 要改善	13点	△ 要改善	14点	△ 要改善	10点	△ 要改善	11点
総合コメント		<ul style="list-style-type: none"> 事業の期間が令和4年2月3日～2月17日（パブコメ期間）ということだが、令和3年度中に実施した計画の一部改訂案の策定期間を含めた期間が事業期間であり、その間に市民参加の手法を採用して検討が必要ではなかったのか。 自己評価として、自宅に居ながら簡易な方法で意見を提出できるパブリックコメントは適切であったとしているが、①意見が全く無いこと、②無かったにも拘わらず、別の市民参加の手法を取り入れた訳でもないことから、不適切と判断する。 		<ul style="list-style-type: none"> 今回のパブリックコメントでは意見が0件との結果であったが、案内文書がHPに見当たらずとの様な意見を求めたのか、適切であったかの判断が出来ない。管理と運用は一体のものであり、その点が加味されていれば、市民からの意見ももっとあったのでは？ 		<ul style="list-style-type: none"> 事業内容から透明性を求めることは大変難しいであろうが、上からの指示に従って文書を作成したという思考以外何も伝わりませんでした。 		<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントのみであれば概要を作って分かりやすくする等をした方がよかった。 			
担当課ヒアリング 質問事項		<ul style="list-style-type: none"> 市民の意見を募るのにパブコメが適切と判断したにも拘わらず、意見が無かったことに対して、①その理由は何と考えているのか、②担当部署の自己評価を聞きたい。 パブコメ以外に市民参加の手法を取り入れなかった理由を教えて欲しい。 		<ul style="list-style-type: none"> 平成28年にアンケート、平成29年にパブリックコメントを実施しており、今回のパブリックコメントは改訂部分に絞ったものだったのか？ 		<ul style="list-style-type: none"> 意見の提出を見込めるための何か具体的な案は浮かばなかったのですか。 		<ul style="list-style-type: none"> HPのアクセスが489件もあったのにコメントがなかった原因は？ 			
評価項目		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント		
①市民参加の方法	評点	1	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価として、自宅に居ながら簡易な方法で意見を提出できるパブリックコメントは適切であったとしているが、①意見が全く無いこと、②無かったにも拘わらず、別の市民参加の手法を取り入れた訳でもないことから、不適切と判断した。 	4		5	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの意見が提出されていない事が何とも遺憾の念に堪えません。 	4	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントのみなのに募集期間が短い。 周知方法をもっと工夫するべき（SNS等）。 	3	
	区分	不適切		不適切		やや不適切		不適切		不適切	不適切
②市民参加の手続き（基準）	評点	3		7		5		4		4	
	区分	不良		妥当		要改善		不良		不良	
③市民参加の手続き（水準）	評点	1		2		4		2		2	
	区分	普通		やや積極的		やや積極的		やや積極的		やや積極的	
手法ごとの評価		評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント		
パブリックコメント (意見公募)募集	基準		<ul style="list-style-type: none"> 事前周知の方法が不足している。 結果公表を行っていない。 	基準		基準	<ul style="list-style-type: none"> 具体性が全くといって不透明である。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 周知方法に工夫がない。 	基準	
	3	7		5		4		4			
	水準	水準		水準		水準		水準		水準	水準
	1	2		4		2		2		2	

令和3年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑤ 白井市産業振興ビジョン策定

委員氏名									
総合評価 ①+②+③ 上限(30点)	○ 妥当	16点	○ 妥当	18点	◎ 良好	22点	△ 要改善	14点	
総合コメント	<ul style="list-style-type: none"> 形式的に市民参加を行なっているが、内容については不十分なところが見受けられた。例えば、アンケートの回収率が不十分であった。委員に周知を依頼する、商工会議所の会頭さんに依頼するなど、色々と対策をとるべきであったと考えられる。また、アンケート結果が報告された議事録を確認すると、かなり積極的に議論がなされていた。たとえば、アンケート項目について審議会で事前に確認をしてもらうなどすると、さらに噛み合った議論が可能になったのではないかと考えられる。 		<ul style="list-style-type: none"> 複数の方法で市民参加の機会を実現している点が良いと思いました。 審議会委員は白井市の産業に携わる専門的な委員と公募委員が良いバランスで任命されていました。審議会の開催も計画的に開催されていました。パブリックコメントについても審議会で議論することを前提に計画・実施されていました（結果として意見が0件だったことは残念です）。 アンケートについては、「白井市商工業の活性化に向けたアンケート」は審議会議事録の配布資料として結果を閲覧することができました。「地域農業の将来に関するアンケート」は審議会で結果報告がなされず、アンケート内容も公開されていないため、どのような理由でどのようなアンケートが実施されその結果はどのようにビジョン策定に反映されたのかが分かりませんでした。 独自アンケート以外にも、「白井市工業団地実態調査」を活用されたのは良いと思いました。審議会の議論では、この実態調査の分析からインフラ整備の重要性について議論されていました。 		<ul style="list-style-type: none"> 概ね良好に対応されている。 		<ul style="list-style-type: none"> 市民が暮らしやすい街づくりの実現に寄与。市民にかかわりの深い政策として、積極的な市民参加の姿勢が望まれる。 		
担当課ヒアリング 質問事項	<ul style="list-style-type: none"> 公募市民が委員として入ったことで、産業振興のビジョンを策定する上で良かった点があれば教えてください。 アンケートの回収率の低さについて。通常もこれくらいの回収率なのでしょうか？ 		<ul style="list-style-type: none"> 「白井市産業振興ネットワーク会議」と「白井市産業振興ビジョン策定」審議会の関係を教えてください。ご教示いただいたホームページの閲覧箇所では、「白井市産業振興ネットワーク会議」の議事録が掲載されていて、令和4年度も議論が続いているようです（調査票によると、白井市産業振興ビジョン策定の期間は令和3年11月15日が終了日となっています。令和元年5月1日号の広報しろいでは「白井市産業振興ネットワーク市民公募委員」を募集されていました）。 審議委員の選考基準について「市政への参画経験が少ない」ことを考慮したのは何故ですか。 令和2年度（2020年度）の審議会はオンラインで開催する、文書会議を実施する等は検討されましたでしょうか。 パブリックコメントの募集時期はどのように決定されたのでしょうか。 パブリックコメント募集後に予定していた令和3年12月の審議会を開催しなかったことの影響はありましたか。 「地域農業の将来に関するアンケート」はどのような内容のアンケートだったのでしょうか。アンケート内容は審議会等へ結果報告をしていませんが、産業振興ビジョン策定にどのように反映されましたか。 商工業活性化に向けたアンケートは5年前に実施した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」とどのような点で異なりますか。アンケート結果は、平成31年度第3回会議（審議会）議事録では「今回だけのデータということで、あくまでも参考までに」とありますが、調書では「資料の配布・説明に加え議論を行った」とあります。どのような議論がなされましたか。（工業に関するアンケートについてはインフラ整備が課題となっていることが議論されました） 		<ul style="list-style-type: none"> 「パブリックコメント」への応募結果が0件だったことについての見解は。 				
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	
①市民参加の方法	評点	5	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの実施概要について審議会で事前に確認するのも有効であったのではないかと考えられた。 	7	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加が複数の方法で実施されていること、長期的な視野で審議会の議題を計画し、計画的にパブリックコメントの募集やアンケート調査の実施を行っていることから「概ね適切」とする7点の評価をしました。ただ、パブリックコメントは意見の応募が0件であったこと、アンケート調査は「地域農業の将来に関するアンケート」について、農林業センサス（国が行っている調査）との重複期間を避けるために「白井市商工業の活性化に向けたアンケート」と実施時期をずらしたことで審議会で結果報告・議論がなされていないことは今後の改善すべき点となります（コロナ禍の影響を受けたことは理解できます）。アンケート調査の事前周知についてもホームページや広報しろいなどで案内した方が良いと思います。 	9	<ul style="list-style-type: none"> 適切である。 	6	<ul style="list-style-type: none"> 直接的に、市民に対して説明、市民の意見聴取することが望まれる。
	区分	やや不適切		概ね適切		適切		やや不適切	
②市民参加の手続き(基準)	評点	7		6		7		5	
	区分	妥当		要改善		妥当		要改善	
③市民参加の手続き(水準)	評点	4		5		6		3	
	区分	やや積極的		積極的		積極的		やや積極的	
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	
審議会の設置	基準	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な部分は基準を満たしていた。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 条例の基準に則って市民参加のための審議会が開催されています。 審議会と「白井市産業振興ネットワーク」は同じものなのででしょうか。「白井市産業振興ビジョン策定」の終了日は令和3年11月15日となっていますが、令和4年度も議論が続いています。 2020年度はコロナ禍のため審議会を開催できなかったのだと思いますが、オンライン会議などの実施の可能性は検討されましたでしょうか。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 対応できている。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ基準通りであるが、積極的な姿勢は見られない。 	
	9		8		8		5		
	水準	<ul style="list-style-type: none"> 地域の産業振興であるため、確かに平日昼間での開催でも問題ないと思うが、例えば市外に働きに出ている方の視点を取り入れていくと、新たな議論展開ができるようにも考えられた。その場合、平日昼間ではなく、夜に開催することも有効ではないかと考えられた。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 条例基準を満たし、令和元年度と令和3年度は委員の公募時に広報しろいでアナウンスしていた通り年3回の会議を実現しています。 ホームページでは、平成25年からの白井市産業振興ネットワークの活動が詳しく掲載されていました。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 上記に同じ。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 会議の運営等工夫もなく、望ましい水準とはいえない。 	
	6		7		6		4		
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な部分は基準を満たしていた。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 条例基準は概ね満たしていますが、結果として市民の意見が集まらず、本計画策定時に市民の意見が反映される機会が得られなかったため改善の余地はあると思います。 募集時期について、第3回産業振興ネットワーク会議（8月25日）で新素案が妥当であると答申を受けているので、もう少し早い時期に意見募集を開始できていたら良かったと思います。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 対応できている。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 事務的にはほぼ基準通りに取り組んでいると思われる。 	
	9		7		8		6		
	水準	<ul style="list-style-type: none"> 閲覧数が33件と大変少なかった。パブリックコメントは市民からの意見を集約するだけでなく、情報提供という意味もあると思うため、33件では少なすぎるのではないかと考えられる。もっと周知する方法を検討すべきであった。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの意見を産業振興ビジョン策定に反映させるためにもう少し早い時期/長い募集期間でパブリックコメントの募集をするのが良いと思いました。 ホームページ上の「白井市産業振興ビジョン（原案）に関する意見公募（パブリックコメント）の実施結果」に掲載されている資料は大変分かりやすいので、意見募集時の広報しろいなどにQRコードを掲載して当該ページにアクセスしやすいようにしたら意見が集まったと思います。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 上記に同じ。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> ビジョンの策定公表が令和3年12月に行われている。施策への反映を考えると時期が疑問。 	
	4		5		7		4		
アンケート調査の実施	基準	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの回収率が大変低かった。直接的なステークホルダーであったにも関わらず、ここまでアンケート回収率が低いのは、なぜでしょうか？ 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 条例基準を満たすためには、事前周知、結果の公表を行う必要があります。 「地域農業の将来に関するアンケート」では対象地域を「平塚」としていますが、これは平塚エリアで農業が盛んだからなのでしょう。 「商工業の活性化に向けたアンケート」では、回答率向上のための工夫として電話にて依頼と調書に記載されていますが、550件の電話をなされたのでしょうか。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 回収率が低すぎる。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 本策定に、重要な調査、もっと積極的な対応が必要と思われる。 	
	5		5		5		4		
	水準	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの事前周知、事後報告が不十分であった。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査がどのようにビジョン策定に反映されているか示す資料を公開していただくと本アンケート調査の効果が可視化できます。 令和2年度はコロナ禍の影響で審議会が開催されなかったため、「地域農業の将来に関するアンケート」は実施時期をずらし、調査結果を審議会で報告・議論した方が良いと思いました。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 上記に同じ。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 一般市民含め、周知したうえで取り組み、結果公表も前向きにすべきと考える。 	
	4		4		5		3		

令和3年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号⑤ 白井市産業振興ビジョン策定

委員氏名								平均（小数点以下切り捨て）		
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）	△ 要改善	10点	○ 妥当	18点	△ 要改善	15点	△ 要改善	15点	○ 妥当	16点
総合コメント	<ul style="list-style-type: none"> 審議会の公募委員として20代から40代位の委員を増やした方が良かった。応募し易い曜日や時間設定が必要。公募委員以外の人数を減らして公募委員を増やしても良かったのではないか。（出席率は、公募委員はほぼ100%だが、その他は75%程度） パブコメ募集期間の末日が事業期間終了日では施策に反映できないのではないか。しかも、アクセス数33件で意見ゼロでは、ただ実施しただけのこと。 農業者へのアンケートが平塚地区だけとした理由が不明。アンケート結果の公表も無く、審議会への報告も無いのでは実施した意味が無いではないか。 白井市の産業振興ビジョンの策定は、大変重要課題であるため、市民参加の手法として、意見交換会やワークショップを開催するなどの工夫があっても良かったと思う。 		<ul style="list-style-type: none"> 事業者は日々努力しており、産業活性化へのキーは消費者にもある。消費者目線での意見収集も必要だったのではないかな？ パブリックコメントが0となっていたが、単に原案を提示してそれに対する意見を求めるのではなく、変化や突出した考えも許容する姿勢が必要だったのではないかな。 		<ul style="list-style-type: none"> 素晴らしいと思うが、今後何年後か同じような策定をされたらよいと思う。 		<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントもアンケートももう少し工夫して多くの意見を聞いてほしい。 			
担当課ヒアリング 質問事項	<ul style="list-style-type: none"> 審議会について令和2年2月5日から令和3年5月31日までの間、未実施であるが、書面会議とかで情報提供や情報交換をする機会を作れなかったのか。ZOOMでの会議は検討しなかったのか。 パブコメの時期設定の理由について。 農業者へのアンケートについて、公表も審議会への報告も無かった理由について。 				<ul style="list-style-type: none"> 一般の公募委員が1名の理由はありますか。 出席率（会議）を上げる工夫はありますか。 		<ul style="list-style-type: none"> 「会議録は見やすく記載してある」とあるが、どのような工夫をしているのか。 アンケートをなぜ公表していないのか？ 			
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
①市民参加の方法	評点	4	6	やや不適切	6	<ul style="list-style-type: none"> 出席率はよくても、今後の市民にプラスになるようなパブコメやアンケートにする工夫が欲しいと思う。情報機器を上手に使うとともに、ぬくもりある施策にするため工夫や学習が必要と思われる。 	5	<ul style="list-style-type: none"> 行っている手法を生かしていないのがとても残念。 	6	
	区分	不適切								やや不適切
②市民参加の手続き（基準）	評点	4	7	妥当	5	要改善	5	要改善	5	
	区分	不良								
③市民参加の手続き（水準）	評点	2	5	積極的	4	やや積極的	5	積極的	4	
	区分	やや積極的								
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント
審議会の設置	基準	<ul style="list-style-type: none"> 審議会の公募委員の募集と任期の記載に整合性がない。 年齢層が偏っている。20代～40代が入っていない。 	基準	7	基準	<ul style="list-style-type: none"> 1つ1つのポイントを押さえている。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 周知・公表の方法を工夫した方がよい。 	基準	基準
	5		7		6		5		6	
	水準	<ul style="list-style-type: none"> 書面の上でみると会議は盛況の様が見受けられる。しかし、一般公募が1名の形でこれを市民参加の会議としてとらえられるものかどうか疑問視する声もあがるのではないだろうか。 	水準	5	水準	<ul style="list-style-type: none"> 充分要件を満たしている。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 取組は良いがコメントがないのが残念。 	水準	水準
	1		5		5		4		4	
パブリックコメント (意見公募)募集	基準	<ul style="list-style-type: none"> 評価項目に対して概ねクリアしているように見えるが、実施時期が事業期間外で、審議会も実施されていない。 	基準	8	基準	<ul style="list-style-type: none"> 充分要件を満たしている。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> SNS等を使い、幅広く周知すればよかったと思う。 	基準	基準
	5		7		6		7		7	
	水準	<ul style="list-style-type: none"> 回収率を高める工夫が無い。 商工業者へのアンケートの公表をしないのは何故か。 商工業者へのアンケートは審議会に資料配布と議論有り。 農業に関するアンケートの審議会への報告が無い。施策に反映させるためにアンケート実施したと言えるのか。 	水準	7	水準	<ul style="list-style-type: none"> これを果たして市民が参加した会議としてとらえられるのか。それぞれの回収率の低さもあらわれている。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 回収率が低すぎる。 	水準	水準
	3		7		7		8		5	
アンケート調査の実施	基準	<ul style="list-style-type: none"> 回収率を高める工夫が無い。 商工業者へのアンケートの公表をしないのは何故か。 商工業者へのアンケートは審議会に資料配布と議論有り。 農業に関するアンケートの審議会への報告が無い。施策に反映させるためにアンケート実施したと言えるのか。 	基準	6	基準	<ul style="list-style-type: none"> 農業者の方々がよく（21%・114件）提出されている。その点は評価にあたいすると思います。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 事業者・農業者へのアンケートでも公表はした方がよいと思う。 	基準	4
	4		6		4		4		4	
	水準	<ul style="list-style-type: none"> 回収率を高める工夫が無い。 商工業者へのアンケートの公表をしないのは何故か。 商工業者へのアンケートは審議会に資料配布と議論有り。 農業に関するアンケートの審議会への報告が無い。施策に反映させるためにアンケート実施したと言えるのか。 	水準	4	水準	<ul style="list-style-type: none"> 回収率を高める工夫が無い。 商工業者へのアンケートの公表をしないのは何故か。 商工業者へのアンケートは審議会に資料配布と議論有り。 農業に関するアンケートの審議会への報告が無い。施策に反映させるためにアンケート実施したと言えるのか。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 回収率を高める工夫が無い。 商工業者へのアンケートの公表をしないのは何故か。 商工業者へのアンケートは審議会に資料配布と議論有り。 農業に関するアンケートの審議会への報告が無い。施策に反映させるためにアンケート実施したと言えるのか。 	水準	水準
	2		4		2		3		3	

令和3年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号㉔ 白井市第2次地域福祉計画中間見直し版の策定

委員氏名		総合評価 ①+②+③ 上限(30点)		総合コメント		担当課ヒアリング 質問事項									
○ 妥当		17点		◎ 良好		20点		△ 要改善		14点		○ 妥当		16点	
		<ul style="list-style-type: none"> 市民感覚を大切にしている計画にも関わらず、市民参加の取り組みが中途半端であったのではないかと見受けられた。例えば、地域福祉団体へのヒアリングを行っていないが、それらが審議会での審議にどのように反映されているのかが不明であった。かなり具体的な現場の課題が吸い上げられたと思うので、これらをしっかりと反映し、中身のある計画にしていくことが可能だったのではないかと考えられた。 		<ul style="list-style-type: none"> 複数の方法で市民参加の機会を実現している点が良いと思いました。 ホームページに掲載されている資料は詳細なので、具体的な見直し力所の概要や審議会の議題の表示の工夫がなされているとより良いです。 パブリックコメントの募集結果のページに表示される「(参考)白井市第2次地域福祉計画中間見直し版(素案)」で黄色の線が引いてある箇所が見直し箇所でしょうか。「計画素案に対する意見」としてどのようなことが求められているか分かりにくかったので、パブリックコメントの応募は0件だったのではないかと思います。 地域福祉団体等の関係者への聞き取り調査は非常に重要で有意義な試みです。ただ、この聞き取り調査が計画の見直しにどのように反映されたか書いていないので、第一線で福祉に携わっている方がどのような問題意識を持っているのか、貴市はどのようなサポートを検討しているのかが把握できません。 		<ul style="list-style-type: none"> 公開性に欠けているなど全般的に市民参加の趣旨が生かされていない。 		<ul style="list-style-type: none"> 計画策定より5年経過しており、社会情勢の変化等により見直しを実行する事業として、積極的な市民参加の展開が望まれる。 							
		<ul style="list-style-type: none"> 資料だけ拝見すると上記のように見受けられるのですが、ヒアリングの結果を審議会にしっかりと反映した取り組みがあれば教えてください。 		<ul style="list-style-type: none"> 公募委員の選考基準はどのように公表していましたか(公募時の広報しるい令和2年10月15日号では選考基準は確認できませんでした)。 「白井市地域福祉計画策定等委員会」＝「審議会」ですか。活動について、令和3年度は中間見直し版の策定をしていて、令和2年度までは白井市第2次地域福祉計画「地域福祉に関する施策」にかかる取組の進行管理をしていたという理解で正しいでしょうか。白井市第2次地域福祉計画中間見直し版の策定期間は令和3年4月1日から令和4年2月28日ですが、審議会委員の募集は令和2年10月に行っています。これは策定等委員会が平成27年度から継続して存在している委員会だからでしょうか。 平成28年度(平成29年1月)に実施したパブリックコメントでは5件(2名)の意見が寄せられていましたが、今回のパブリックコメントは平成28年度のものとは提供資料やアナウンス方法に違いがあるのでしょうか。もしくは、今回の内容は「見直し」なので意見が寄せられなかったと考えて良いのでしょうか。 「地域福祉団体等の関係者への聞き取り調査」では、具体的にはどのような指摘があり、本計画にはどのように反映されたのでしょうか。 		<ul style="list-style-type: none"> 「パブリックコメント」への応募結果が0だったことへの見解は。 									
評価項目	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント				
①市民参加の方法	評点	5	<ul style="list-style-type: none"> 審議会に加え現場におけるヒアリングを行っていることは評価できた。さらにパブリックコメントを行っていることで、形式的にはさまざまな市民の意見を取り入れる形式は整っていたと考えられる。 	8	<ul style="list-style-type: none"> 複数の方法で市民参加を実施していること、その他の方法として地域福祉団体等の関係者への聞き取り調査を実施されていることから「概ね適切」の8点の評価をしました。 審議会については、調書では設置期間が令和3年6月29日から令和4年2月28日となっていますが、参考URLでお送りいただいた白井市地域福祉計画策定等委員会のページでは委員の任期が3年となっています。外部からは、白井市地域福祉計画策定等委員会と審議会の関係性が分かりづらいです。 パブリックコメントは平成28年度(平成29年1月)に実施したパブリックコメントでは5件(2名)の意見が寄せられていましたが、今回は0件でした。実施方法については条例基準に則り実施されているので、両者の違いが何なのか気になりました。 地域福祉団体等の関係者への聞き取り調査は非常に重要で有意義な取組です。結果の公表について、匿名性を維持した上で是非行っていただきたいです。また、聞き取り調査が中間見直しにどのように反映されたかを情報共有していただきたいです。 	6	<ul style="list-style-type: none"> 「パブリックコメントの募集」「その他の市民参加の手法」は結果として機能していない様に思われる。 	6	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対する説明、また意見聴取など市民との意見交換会、ワークショップの実施が望まれる。 						
	区分	やや不適切		概ね適切		やや不適切		やや不適切							
②市民参加の手続き(基準)	評点	7		7		4		6							
	区分	妥当		妥当		不良		要改善							
③市民参加の手続き(水準)	評点	5		5		4		4							
	区分	積極的		積極的		やや積極的		やや積極的							
手法ごとの評価	評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント		評点	コメント				
審議会の設置	基準	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には基準通りである。ただし、情報公開の種類や場所が少ないようであった。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> 条例基準に則って審議会が開催されています。審議会委員も年齢や居住地域が重複しないように選出されています。 結果公表について情報公開コーナーでの公表はなされていないこと、委員の募集時に情報公開コーナー、図書館での開示がなかったことから8点の評価となりましたが、ホームページや広報しるいによりアナウンスは充分になされています。市民の関心の高い分野なので公式SNSでも情報共有がなされているとさらに良いと思います。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> 取組に積極性があまり感じられない。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ基準通りの取り組み。 				
	7			8			5			6					
	水準	<ul style="list-style-type: none"> 市民感覚を大切にしている会議にも関わらず、市民参加の取り組みが不十分であった。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 第2回策定等委員会と第3回策定等委員会の議題は2回とも1.白井市第2次地域福祉計画の中間見直し(案)について2.「地域福祉に関する施策」にかかる主な取組についてと示されていたため、具体的にどのような議論がなされたのかインテックスからは判別しづらいです。 市民の関心が高い計画なので、白井市の公式SNSからも情報共有のためのアナウンスがなされるとより良いと思います。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 上記に同じ。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な展開が無いため望ましい水準に至らない。 				
	5			6			3			4					
パブリックコメント(意見公募)募集	基準	<ul style="list-style-type: none"> 形式的には基本的な基準を遵守して実施されていた。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> 条例基準は満たしていますが、結果として市民の意見が集まらず、本計画策定時に市民の意見が反映される機会が得られなかったことで改善の余地はあると思います。 広報しるいで意見募集をする際に、QRコードを掲載するなど、提供資料へのアクセスをやすくする工夫があると良いと思います。また、公式SNSを活用してアナウンスする方法もご検討ください。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> 概ね対応されている。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> ほぼ基準通りの取り組み。 				
	10			8			7			8					
	水準	<ul style="list-style-type: none"> 閲覧数が少なかったため、積極的な周知が行われていたかについては疑問が残った。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 条例基準に則ってパブリックコメントの募集を実施し、募集期間も十分に設けていますが、意見の件数は0件だったことが残念です。 広報しるいでは「市は、第2次地域福祉計画の中間見直しを行っています。計画素案に対する意見を募集します。」としか書いていないので、どのような意見が必要とされているのかわりにくいです。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 上記に同じ。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 今一步、積極的な展開、取り組みの工夫が望まれる。 				
8			5			8			6						
その他の方法	基準	<ul style="list-style-type: none"> 今回は対象がかなり限定されていたため、ここでの基準では点数が低くなっていたが、対象を限定した理由も理解ができる。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> 事前周知や結果の公表がなされていないため、条例基準は満たしていませんが、調査の性質上問題ないです。新しい試みとして聞き取り調査を導入されたこと自体が素晴らしいです。 結果の公表は匿名性を維持した上で、できる範囲で福祉の現状や課題を共有した方が計画が進捗すると思います。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> 「市民参加」の体をなしていないと感じる。 		基準	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉団体への聴取取組手法については評価する。もっと積極的な取り組みがあっても良かったのではないかと。 				
	6			6			2			4					
	水準	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みに関する結果公表がないため、判断がつかないが、聞き取り調査を行うことによって審議会での議論に良い影響があったら教えていただきたい。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉団体等の関係者への聞き取り調査は非常に重要で、有意義な取組です。これを活かすために、審議会での情報共有や議論を行っていただきたいです。 地域福祉の第一線で活躍されている方がどのような問題意識をお持ちなのか、現行の計画に対してどのようなご意見をお持ちなのかを知ることは担当課だけでなく、審議会や市民にとっても非常に重要だと思います。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 上記に同じ。 		水準	<ul style="list-style-type: none"> 十分に施策に生かし切れていないように感じる。 				
	2			6			1			2					

令和3年度市民参加実施事業 評価まとめ表 事業番号㉔ 白井市第2次地域福祉計画中間見直し版の策定

委員氏名								平均（小数点以下切り捨て）	
総合評価 ①+②+③ 上限（30点）	△ 要改善	10点	△ 要改善	15点	○ 妥当	17点	△ 要改善	13点	△ 要改善 15点
総合コメント		<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉計画の策定について、関心の高いテーマと思うが、公募委員の応募者が1名は少ない。周知方法として各センター、情報公開コーナーや図書館で実施できなかったのであれば、時期をずらすか、再度募集しても良かったのではないか。 1年の期間であるが、3回の審議会は少ない。令和2年10月に募集しているながら、第1回審議会が6/29は遅すぎる。 パブリックコメントの募集期間や募集方法及び資料提供など良く実施できていると思う。 地域福祉団体等からの聞き取り調査を実施したことは大変良かったと思う。ただ、78頁4当該手法の詳細の欄で、第1回 令和3年4～6月 参加者6名の記載があるが、これだけでは聞き取りが少ないのではないか。又開催記録が作成されていないのではあまり意味が無いのではないか。 		<ul style="list-style-type: none"> 福祉には広い課題があるが、個々の市民活動団体が抱えている問題を吸い上げる為のルート作りが必要。もっと積極的に繋がることでパブリックコメントの意見も多く集められたのではないか？ 		<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法が改正されたのであれば、尚市民の無作為抽出の公募委員を増やしてほしいと思いました。 		<ul style="list-style-type: none"> やって満足ではなく、どうしたらコメントをもらえるか、市民に情報を届けられるかを工夫してほしい。 	/
担当課ヒアリング 質問事項		<ul style="list-style-type: none"> 公募委員の応募が1名は少ない。何故少なかったのか、その理由は何と考えているか。 パブリックコメントへの、意見が全く出てこなかった理由は何と考えているか。 		<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの結果0件をどの様に評価しているのか？ 聞き取り調査の結果はどの様にまとまっているか？ 		<ul style="list-style-type: none"> その他の市民参加において、大幅に時間（開催日時）が長いのは何故ですか。日により会議の時間を決めているのですか。 短時間の聞き取りとは具体的にどのような事ですか。 		<ul style="list-style-type: none"> 「その他の方法」の記録の作成・公表がコロナのためではやる意味がない。聞き取りが短くても意見等があったなら、まとめて公表するべき。 	
評価項目	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	
①市民参加の方法	評点	4	7	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に活動をしている個々の団体が持つ課題を組み入れる為にも、公募委員の割合を増やす必要がある。 	7	<ul style="list-style-type: none"> 審議会において年齢の開きが気になりました。（36～50才代1名、66才～1名） 	5	<ul style="list-style-type: none"> 周知・公表の方法を工夫してほしい。 	6
	区分	不適切							
②市民参加の手続き（基準）	評点	4	5	要改善	5	要改善	5	要改善	5
	区分	不良							
③市民参加の手続き（水準）	評点	2	3	やや積極的	5	積極的	3	やや積極的	3
	区分	やや積極的							
手法ごとの評価	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	評点	コメント	
審議会の設置	基準		基準		基準	<ul style="list-style-type: none"> 一般の公募委員が少ないと思います。 	基準		基準
	4		6		5		7		6
	水準		水準		水準	<ul style="list-style-type: none"> 素晴らしいが特定の方の選出である点が気になります。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 公表がHPのみだったのはなぜか？ 	水準
	2		4		6		4		4
パブリックコメント (意見公募)募集	基準		基準		基準	<ul style="list-style-type: none"> 募集の期間が長いのではないかな。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 募集期間が長く設定されているのはとても良いと思う。 	基準
	6		8		7		7		7
	水準		水準		水準	<ul style="list-style-type: none"> 結果の公表がなくても審議会で報告されています。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> SNSを活用するなどの工夫があればもっと良かったと思う。 	水準
	6		7		6		6		6
その他の方法	基準		基準		基準	<ul style="list-style-type: none"> 個人のプライバシーに沿った事などもあったのではないかな。 	基準	<ul style="list-style-type: none"> 開催期間と参加人数が（いくらコロナでも）おかしい。これだけの期間があればもう少し多くの人に意見を聞いたのでは？ 	基準
	3		3		4		3		3
	水準		水準		水準	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルに沿っていないように見受けられます。 	水準	<ul style="list-style-type: none"> 短期間の聞き取りだったとしても意見はあったはず。公表しない理由にはならないと思う。 	水準
	0		0		3		1		1

評価付表 事業番号④ 白井市公共施設等総合管理計画(改訂)(案)

資料 3

市民参加の方法(A)																			平均(小数点以下切り捨て)
①市民参加の方法		3	5	4	4	1	4	5	4										3
市民参加の手続き(B)																			平均(小数点以下切り捨て)
市民参加手法	基準・水準 項目番号	基準	水準																
パブリックコメント	①	×	×	○	△	△	×	×	×	△	×	○	×	○	○	△	△	4	2
	②	×	△	○	△	○	○	○	△	○	×	○	○	○	○	○	△		
	③	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×		
	④	△	○	△	×	△	○	△	△	×	×	○	○	○	○	△	○		
	⑤	△	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○		
	⑥	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×		
	⑦	△	×	△	×	△	×	△	×	×	×	×	×	△	×	×	×		
	⑧	—	×	—	×	—	×	—	×	—	×	—	×	—	×	—	×		
	⑨	×	×	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×		
	⑩		×		×		×		×		×		×		×		×		
	⑪		×		×		×		×		×		×		×		×		
	評価点数	4	2	6	4	6	3	4	2	3	1	7	2	5	4	4	2		
②基準(小数点以下切り捨て)		4		6		6		4		3		7		5		4		4	
③水準(小数点以下切り捨て)		2		4		3		2		1		2		4		2		2	
合計(①+②+③)		9		15		13		10		5		13		14		10		11	

評価付表 事業番号⑤ 白井市産業振興ビジョン策定

資料 3

市民参加の方法(A)																		平均(小数点以下切り捨て)
①市民参加の方法	5	7	9	6	4	6	6	5	6									6

市民参加の手続き(B)																		平均(小数点以下切り捨て)	
市民参加手法	基準・水準 項目番号	基準	水準	基準	水準														
審議会	①	○	○	△	△	△	△	△	×	△	×	○	×	△	△	△	△	6	4
	②	—	○	—	○	—	○	—	○	—	×	—	○	—	△	—	○		
	③	○	△	△	△	△	○	×	×	×	×	△	△	○	△	○	×		
	④	○	△	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	○	○	○		
	⑤	△	○	△	△	△	○	△	×	△	×	×	○	△	○	×	○		
	⑥	○	×	○	○	○	○	×	○	△	×	○	○	○	○	○	×		
	⑦	○	△	○	△	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	×		
	⑧	○	△	○	△	△	×	△	×	○	×	○	×	△	△	×	×		
	⑨	○	△	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		
	⑩	△	×	△	△	△	×	△	×	△	×	×	×	△	×	×	×		
	評価点数	9	6	8	7	8	6	5	4	5	1	7	5	6	5	5	4		
パブリックコメント	①	△	×	△	△	○	×	×	×	×	×	○	×	○	△	○	×	7	5
	②	○	△	○	○	○	○	○	△	○	×	○	○	○	△	○	○		
	③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	④	○	△	○	△	○	○	○	△	○	×	○	○	○	○	○	○		
	⑤	○	×	×	○	×	○	△	○	×	○	○	○	○	○	○	○		
	⑥	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	△	○	×		
	⑦	○	×	△	×	△	×	×	×	×	×	×	○	△	×	×	×		
	⑧	—	○	—	○	—	○	—	○	—	×	—	×	—	○	—	○		
	⑨	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	△	○	○	○		
	⑩	△	×	△	△	○	×	△	△	—	△	○	△	○	△	○	○		
	⑪	△	△	○	○	○	○	△	△	×	△	○	△	○	△	○	○		
評価点数	9	4	7	5	8	7	6	4	5	3	8	7	6	7	7	8			
アンケート	①	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	△	×	×	4	3
	②	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	③	○	○	△	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○		
	④	○	○	△	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	×	○	△		
	⑤	○	○	○	○	○	○	△	○	×	△	○	○	○	○	○	○		
	⑥	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×		
	⑦	△	×	△	○	×	×	×	△	×	×	△	○	△	×	×	○		
	⑧	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	⑨	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	×		
	⑩	△	×	△	△	○	×	△	△	×	△	○	△	×	△	×	×		
	⑪	△	○	△	△	○	○	△	△	×	△	○	△	○	△	×	×		
評価点数	5	4	5	4	5	5	4	3	4	2	6	4	4	2	4	3			
②基準(小数点以下切り捨て)	7	6	7	5	4	7	5	4	7	5	5	5	5						
③水準(小数点以下切り捨て)	4	5	6	3	2	5	4	5	4	5	4	4							
合計(①+②+③)	16	18	22	14	10	18	15	15	16										

評価付表 事業番号⑥ 白井市第2次地域福祉計画中間見直し版の策定

資料 3

市民参加の方法(A)																		平均(小数点以下切り捨て)
①市民参加の方法	5	8	6	6	4	7	7	5	6									6

市民参加の手続き(B)																		平均(小数点以下切り捨て)	
市民参加手法	基準・水準 項目番号	基準	水準	基準	水準														
審議会	①	○	△	○	△	×	×	△	×	×	○	×	×	○	△	○	△	6	4
	②	—	△	—	△	—	△	—	○	—	△	—	○	—	○	—	○		
	③	○	×	△	△	○	×	○	×	△	×	○	×	○	○	○	×		
	④	○	△	○	○	×	○	○	○	△	△	○	△	○	○	○	○		
	⑤	△	○	△	○	△	○	△	△	×	△	×	△	△	×	×	○		
	⑥	△	○	○	○	○	×	△	○	×	×	△	○	○	×	○	×		
	⑦	○	△	○	△	○	×	○	△	○	×	○	×	×	×	○	×		
	⑧	△	×	△	△	△	×	△	×	○	×	×	×	×	×	○	×		
	⑨	△	×	○	○	○	△	○	△	○	×	○	○	×	×	○	○		
	⑩	△	△	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	評価点数	7	5	8	6	5	3	6	4	4	2	6	4	5	6	7	4		
パブリックコメント	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7	6
	②	○	△	○	○	○	○	○	△	○	×	○	○	○	○	○	○		
	③	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	④	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	×	○	○	△		
	⑤	○	○	△	○	△	○	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○		
	⑥	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	△		
	⑦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	⑧	—	○	—	×	—	×	—	×	—	×	—	×	—	×	—	×		
	⑨	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×		
	⑩	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○		
	⑪	△	△	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
評価点数	10	8	8	5	7	8	8	6	6	6	8	7	7	6	7	6			
その他の方法	①	△	×	○	○	×	×	×	×	△	×	○	×	△	○	△	×	3	1
	②	○	×	○	×	△	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	—		
	③	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—		
	④	△	×	△	×	×	×	×	×	○	×	×	×	△	×	△	×		
	⑤	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×		
	⑥	×	○	×	○	×	△	×	△	×	×	×	×	×	○	—	△		
	⑦	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△		
	⑧	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△	×	△		
	⑨	○	△	○	△	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○		
	評価点数	6	2	6	6	2	1	4	2	3	0	3	0	4	3	3	1		
②基準(小数点以下切り捨て)	7	7	4	6	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
③水準(小数点以下切り捨て)	5	5	4	4	2	3	5	3	5	3	3	5	3	3	3	3	3		
合計(①+②+③)	17	20	14	16	10	15	17	13	15	13	15	17	13	15	13	15	15		

第4回市民参加推進会議スケジュール（案）について

日 時：令和4年12月22日（木）午前9時～正午

場 所：白井市役所東庁舎3階 会議室303・304

スケジュール（案）

○事務連絡（事務局からヒアリングの流れ等を説明）【計5分】

○担当課ヒアリング 3事業 【計60分】

事業番号④ 白井市公共施設等総合管理計画（改訂）（案）（20分）

事業番号⑤ 白井市産業振興ビジョン策定（20分）

事業番号⑥ 白井市第2次地域福祉計画（しろい支え愛プラン）中間見直し版の策定（20分）

○休憩 【計10分】

○事務連絡（事務局から評価の流れ等を説明）【計10分】

○総合的評価の確認 3事業 【計90分】

事業番号① 白井市第3次環境基本計画（30分）

事業番号② 第3次しろい健康プラン計画（30分）

事業番号③ 第2次行政経営改革実施計画策定事業（30分）

○第6回会議日程調整【計5分】

担当課ヒアリングについて（第4回会議（12/22）実施分）

1 担当課ヒアリングの実施目的

- ①市民参加実施状況調査票で読み取れない部分について聞き取りを行うことで、正確な評価を行うため。
- ②職員の市民参加の視点や意識を高めるため。

2 担当課ヒアリングまでの流れ

提出いただいた評価シートの「担当課ヒアリング質問事項」欄に記載いただいた意見及び第3回会議でいただいた意見をもとに事務局にて質問を取りまとめ、各課へ回答を依頼します。各課の回答結果については、会議の1週間前を目安に会議資料として送付しますので、事前にお目通しのうえご出席ください。

3 対象事業

- 事業番号④ 白井市公共施設等総合管理計画（改訂）（案）
（公共施設マネジメント課）
- 事業番号⑤ 白井市産業振興ビジョン策定（産業振興課）
- 事業番号⑥ 白井市第2次地域福祉計画中間見直し版の策定
（社会福祉課）

4 実施内容

- ・ヒアリングは1事業20分以内とします。時間の都合上、より多くの委員が発言できるようご協力をお願いします。
 - ①担当課より、事業の概要について説明。（3分）
 - ②市民参加実施状況調査票で読み取れない事柄について質問する。また、質問に対する各課の回答で不明な点や追加で確認したい点があれば担当課へ質問する。（17分）
- ※下記については質問の対象外とします。
- ・そもそもの事業目的の良し悪しに触れる質問
 - ・今年度及び今後の市民参加に係る質問
 - ・その他市民参加条例の意図とは異なると認められるような質問

5 担当課ヒアリング終了後の流れ

- ・ヒアリング終了後、ヒアリングの内容を踏まえ別途、評価コメントや評価点数の修正を受付けます。

事業番号① 白井市第3次環境基本計画

※評価シートに記載があるものを除いた第2回会議での発言を記載しています。
 ※下線部分は、総合的評価に関連する発言を示しています。

	第2回会議での意見	
	良かった点	改善点
●●委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>回収率が高く、評価できる。(アンケート)</u> 	
●●委員		

事業番号② 第3次しろい健康プラン策定事業

※評価シートに記載があるものを除いた第2回会議での発言を記載しています。

※下線部分は、総合的評価に関連する発言を示しています。

	第2回会議での意見	
	良かった点	改善点
●●委員		
●●委員		
●●委員		
●●委員		<ul style="list-style-type: none"> ・会議の時間が短く、開催回数も少ないため不十分である。 (審議会) ・高齢者からの意見も集めた方がよかったのではないか。(アンケート) ・参加者について男女比を考慮する必要があったのではないか。(意見交換会)
●●委員		

事業番号③ 第2次行政経営改革実施計画策定事業

※評価シートに記載があるものを除いた第2回会議での発言を記載しています。

※下線部分は、総合的評価に関連する発言を示しています。

	第2回会議での意見	
	良かった点	改善点
●●委員		・パブリックコメントは「検討内容を情報共有する」という側面もあることから、ホームページの閲覧回数を伸ばすための取り組みが必要。(パブリックコメント)
●●委員		
●●委員		
●●委員	・傍聴者・参加者ともに多かったことから、市民の関心の高いテーマであったと考えられる。(審議会)	・「行政経営」という専門的なテーマであるため、 <u>市民参加の手法として市民への説明等があると良かった。</u> (その他)
●●委員		
●●委員	・ <u>公募委員の割合が50%以上であった。</u> (審議会) ・ <u>会議の開催回数が多かった。</u> (審議会)	
●●委員		
●●委員		・ <u>SNSの活用など、周知の方法に工夫があれば多くの意見が集められたと思う。</u> (パブリックコメント)